

日中活動支援型共同生活援助事業の実施状況について

項目	【事業所記入欄】			
1.施設概要	法人名	社会福祉法人聖ヨハネ会		
	事業所名	緑町聖ヨハネケアビレッジ		
	事業所所在地	東京都小金井市緑町4-5-10		
	定員（共同生活援助）	男性9+女性9 18人		
	定員（短期入所）	男性1+女性1 2人		
	共同生活住居数	1戸		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】	
		(住居名を記載)	人	
		(住居名を記載)	人	
		(住居名を記載)	人	
2.人員配置	管理者	1人		
	サービス管理責任者	1人		
	【日中】			
	世話人	4人		
	生活支援員	1人		
	【夜間】			
	世話人	2人		
	生活支援員	人		
	3.利用者の状況	支援区分	身体障害	区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人
			*知的障害	区分6： 4人、区分5： 5人、区分4： 8人、区分3： 0人、 区分2： 0人、区分1： 1人、区分なし： 0人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 0人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 18人
精神障害			区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人	
難病等			区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人	
年齢		60代以上： 10人、50代： 3人、40代： 3人、30代： 1人、 20代： 1人、10代： 0人		
利用者の障害特性等		医療的ケアの必要な者： 0人		
		強度高度障害のある者： 3人		
		その他： 人		

	<p>日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援を行っているか。</p>	<p>現在、平日の日中グループホームで過ごす利用者はいない。就労継続B型・生活介護などの日中活動へ通所している。心身の不調により残寮する場合は通院支援や看護等の支援を行っている。</p>
	<p>外出や余暇活動等は実施しているか。</p>	<p>休日、1人で外出できる利用者は自由に外出している。そうでない利用者は移動支援を利用し本人希望の外出ができるよう支援している。近隣への散歩や買い物などは職員が付き添いを行っている。毎月、ボランティアの方が来寮し介護予防体操やさくら体操を行っているので希望者は参加している。その他、季節の行事等。</p>
	<p>家族や地域との交流の機会を設けているか</p>	<p>緑町聖ヨハネケアビレッジの開所がコロナ禍以降であり、家族会などの開催や、大人数で集まる事はできていない。現在は徐々に緩和し、家族の方には自由に来寮していただいている。また、季節ごとの帰宅や週末帰宅などは利用者のご家族の状況に合わせて行っている。</p>
	<p>日中をGH内で過ごす利用者が地域との関係が希薄にならないためにどのような取組をしているか。</p>	<p>基本、全員が日中活動先へ通所している為、毎日外部との関係を持つことが出来ている。休日には本人希望の活動ができるようサポート。図書館や、地域のお店などへの買い物など。また地域のボランティアサークルなどにも参加している利用者もいる。</p>
	<p>医療機関とはどのような連携体制をとっているか。(医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)</p>	<p>同法人の桜町病院との連携の他、地域のかかりつけ医や専門医へ定期的に受診する事で関係を密にし、小さな困りごとでも相談できる関係や繋がりを持つことができています。医師や看護師の訪問は現在はないが、訪問歯科などの利用ができればと考えています。日々の健康については検温・血圧測定や体重測定等を行っている。</p>
<p>4.運営状況</p>	<p>利用者の権利擁護の配慮のための取組を行っているか。</p>	<p>虐待防止委員会の設置。毎月、各事業所の委員が集まり虐待防止についての勉強や議論・検討を行う。また、身体拘束適正化委員会の開催も第三者委員の方にも参加いただき外からの視点で忌憚ないご意見を出していただいている。虐待防止研修については各事業所職員全員参加。内部研修の他、外部の研修にも積極的に参加している。</p>
	<p>相談支援事業所は別法人の事業所を利用することで公平さを確保できているか。(同一法人の相談支援事業所を活用している場合はその理由は何か。)</p>	<p>相談支援事業は別法人の事業所利用の方もいるが、多くが同法人の相談支援事業所のふらっとヨハネを利用している。同法人でのメリットとしては、情報伝達が早く良い事もそうでない事でも意見が伝えやすく、また、提案などもしやすい環境であること。</p>
	<p>他の外部サービスを利用できているか。また利用者の外部サービスに対するニーズを把握できているか。</p>	<p>移動支援事業所の利用。利用者のニーズを把握するためにご本人が意見を言いやすい雰囲気を作る努力をしている。</p>
	<p>短期入所は緊急時利用に対応できているか。</p>	<p>定期的なご利用の短期入所者の他、緊急対応については柔軟に受け入れを行っている。現在も緊急の利用者を1~2か月の予定で受け入れ対応中である。</p>
	<p>協会からの要望、助言にはどのように対応しているか(対応する予定か。)</p>	<p>要望。助言には真摯に対応致します。</p>
	<p>その他(事業所独自の取組等)</p>	<p>強度高度障害のある利用者に対して、事故のないよう必要に応じて人員を厚くするなど体勢を整えている。他の利用者においても自分らしく豊かに暮らすことのできるグループホームを目指している</p>